

シンポジウム「どうする京橋」

散在している京橋の擬宝珠を、京橋に戻し、歴史の原点を見据えた未来のまちへ

開催日時：令和5年11月17日（金）18：00～20：00（開場17：30）

開催場所：中央区立環境情報センター 東京スクエアガーデン6階 研修室1、2

定員60名

主催：NPO 法人京橋川再生の会

共催：京橋一の部連合町会

<開催の主旨>

都心の再開発が進み、超高層ビルの建設で、街並みは大きな変化を遂げています。酷暑の夏が続いたことは、改めて気候変動の影響の深刻さを私たちに問いかけています。日本橋川には、もうすぐ青空が、多くの皆さんの努力で、戻ってまいります。

日本橋川と並び、江戸の伝統を継承する大事な川が「京橋川」です。京橋川は、高度経済成長期に都心の交通を緩和するために、埋め立てられ、東京高速道路（通称KK線）が建設され今日にいたります。この度、日本橋川の上空にあった高速道路の地下化により、KK線は不要となり、京橋に新しい光がさしてまいりました。

京橋川にかけられていた橋の擬宝珠は、現在、3基は京橋にあります。一基は、日比谷公園に、もう一基は、新宿御苑隣接地の東京国道事務所資材置き場に仮置きされています。

明治から、関東大震災、戦災、高度経済成長を経て、激動の時代に、「流浪の民」となった

京橋の擬宝珠を、もう一度、京橋に戻すことは、いま私たちの時代が行うべき責務であると存じます。

このシンポジウムでは、京橋の歴史の証人としての「擬宝珠の里帰り」の実現に向けて、京橋のみらいを皆様と御一緒に考えていきたいと存じます。

御参加のほど、よろしく、お願い申し上げます。

写真：新宿御苑隣接地、東京国道事務所の敷地内に

仮置きされている京橋の擬宝珠

（撮影 2023年 10月27日）



プログラム

- 18:00 ご挨拶 NPO 法人京橋川再生の会 副理事長
諏訪 恭一
- 18:10 基調講演「どうする京橋」 中央大学研究開発機構・機構教授
東京大学名誉教授
日本イコモス 理事
石川 幹子
- 18:30 講演「京橋の擬宝珠」 NPO 法人京橋川再生の会 理事
鹿内 京子
- 18:45 招待講演「日本橋川の再生と京橋川」 中央大学研究開発機構・機構教授
山田 正
- 19:10 パネルディスカッション「どうする京橋」 コーディネーター
石川 幹子

山田 正 (中央大学研究開発機構・機構教授)

北原 敬三 (京橋二丁目西町会 会長)

田中 智行 (京橋三丁目町会 会長)

小松 忠和 (NPO 法人京橋川再生の会 理事長)

諏訪 恭一 (NPO 法人京橋川再生の会 副理事長)

鹿内 京子 (NPO 法人京橋川再生の会 理事)

- 19:55 閉会の挨拶 NPO 法人京橋川再生の会 理事長
小松 忠和

申込先

NPO 法人京橋川再生の会 事務局 樋川 (ひかわ) まで

お名前、所属先、電話番号(携帯)を記入のうえ、メール info@kyobashi-tokyo.jp

で、お申込みをお願いいたします。